ほおづえ会の会則改定に向けて

ほおづえ会 会長　家山　真（14期）

石川高専建築学科同窓会（ほおづえ会）が設立されてから25年が経過しました。社会に出てからも、仕事やプライベートの付き合いの中で多くの同窓生に会う機会があり、先輩・後輩の繋がりや親睦のために、ほおづえ会は大きな役割を果たしたと思っています。今もその基本は変わらないのですが、四半世紀のうちにコミュニケーションの方法も時代と共に変化し、SNSやネット環境による交流も一般的になってきました。また、毎年40名の正会員が増える中で、会報の発送数と宛先不明で返送される数が増加しています。会費の納入状況も6～7%程度と、ほおづえ会の健全な運営が危惧されています。2017年に私が会長に就任したときに提案した以下の項目について、本年度の総会において審議したいと思っています。詳細については役員会において検討している段階です。

1．終身会費制度の導入

これまでの正会員会費3,000円／年を、卒業時に終身会費を納入することに変更。終身会費についてはこれまでの会費と同等の3,000～5,000円程度を予定。

2．紙による会報の発行を取止

今までの支出の多くは会報の印刷と郵送代でした。webにより、随時新鮮な同窓会情報を発信する。ほおづえ会のwebサイトをリニューアルしていく。

3．会計年度を4月1日～3月31日に変更

現在の会計年度は8月1日～7月31日となっています。お盆の帰省時に合わせて総会を開催する趣旨で、現在の年度が決められていました。学校などの一般的な事業年度に合わせ、わかりやすい区切りにする。

本年度の総会は、紀友祭開催日の2019年11月2日(土)または3日(日)の16:00から石川高専にて行う予定です。（詳細が決まり次第、ほおづえ会webサイトにて告知します）

会則改定を伴う内容になりますので、総会に出席されない会員からの意見を審議に取り入れるために、web上で議案の審議・質問をできるように計画中です。詳細は2019年10月1日にほおづえ会のサイト（http://hoozue.org/）でお伝えいたします。総会の出欠確認、web審議は、ほおづえ会webサイトにて行いますので、会員のみなさまは必ずご覧ください。会報「ほおづえ」は、今号をもって紙での定期配付は最後になる予定です。facebookのグループページでも案内をいたしますので、facebookで「石川工業高等専門学校建築学科同窓会ほおづえ会」を検索して登録していただければ幸いです。

2020年で建築学科は設立50周年になります。こちらも50周年記念事業など検討中です。

■ホームページのお知らせ

ほおづえ会ホームページ内にあります卒業生リンクのページを更新しました。

今後も引き続き拡充をはかっていきたいと思っておりますので、個人の起業した会社ではなくとも所属する会社の承諾が得られる場合には、ほおづえ会までご連絡いただければと思います。

●卒業生リンク
http://hoozue.org/oblist.html

■facebookのお知らせ

現在facebookにある、ほおづえ会のグループ（https://www.facebook.com/groups/677037649002677/）ですが、イベントのお知らせ等ご活用いただきありがとうございます。

また引き続きグループへの参加をお待しております。

同窓会にまさにうってつけのfacebookですが、管理人の同級生は数人しか居ません。微妙にアナログ世代なのでしょうか？反対に既に入っていたほおづえ会関係の方でも、拘束される感じが嫌だと、早々に見切りをつけて退会された人も見かけます。あまり流行のシステムに依存せずに、本来のほおづえ会サイト（http://hoozue.org）を充実するようにしていく必要があると感じました。

HPについてのご不明な点、企画のアイディア、または活用のアドバイス等などありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

■ほおづえ会総会のお知らせ

日時：2019年11月2日（土）
　　または3日（日）16時～（予定）
場所：石川高専建築学科棟

詳細は決まり次第、ほおづえ会webサイトにてお知らせいたします。

今回は紀友祭の日に石川高専での開催します。

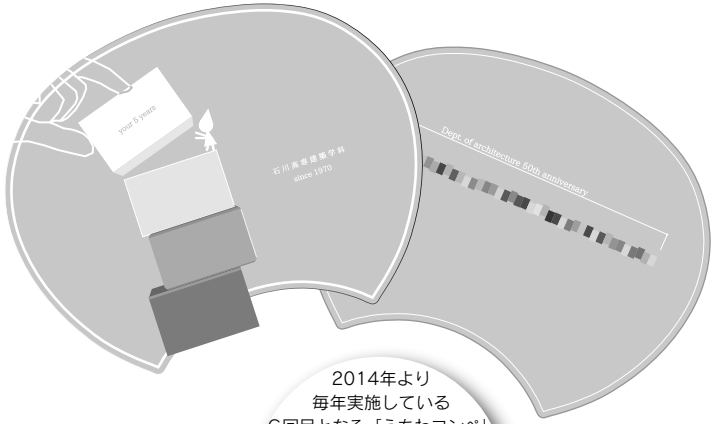
同時開催のオープン・カレッジでは、建築学科棟内で学生の作品展示等も行っています。

みなさんのご参加お待ちしております。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

ほおづえ

Vol. 27
令和元年7月31日発行



2014年より
毎年実施している
6回目となる「うちわコンペ」
建築学科3年以上が応募し、
審査員は学科教員が審査。
体験入学に参加する
中学生に配布しています。
2019年の募集テーマは
「学科の50周年」
です。

■企画編集／ほおづえ会
■発行／ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局
（石川工業高等専門学校建築学科同窓会）
〒929-0392
石川県河北郡津幡町北中条タ 1
石川工業高等専門学校　建築学科（内田）
TEL ／ 076-288-8184
FAX ／ 076-288-8191

ほおづえ会HP

facebook グループ

建築学科は 2020 年に 50 周年を迎えます。
なお石川高専は 2015 年に創立 50 周年を迎えました。

平成30年度　ほおづえ会　役員会報告

令和元年6月5日、ほおづえ会の役員会が石川高専建築学科会議室にて6名の出席者で行われました。
（ほおづえ会では、2年に1回秋に総会を開催しておりますが、その間の年には役員会をしております。）

平日の夜ということもあり、限られた時間ではありましたが、来年に迫った建築学科50周年に向けて積極的な意見交換が出来、非常に有意義な会合となりました。

令和元年秋には、石川高専紀友祭の開催日にあわせて（11月2日（土）または3日（日・祝））ほおづえ会全体の総会を予定しておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。

◎平成29年度事業報告（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

- 定例総会・谷重先生講演会・懇親会（平成30年11月）
- ほおづえ会会報　第26号　発行（平成30年7月）
- ホームページ更新、facebook更新、充実

◎平成30年度事業計画（平成30年8月1日～令和元年7月31日）

- ほおづえ会会報第27号 発行（令和元年7月）
- ボウリング大会へ補助（平成30年11月・令和元年5月）
- 随時 ホームページ更新、facebookへの投稿など情報発信
  その他建築見学会、懇親会、インターンシップ協力、学校授業、紀友祭に協力などを検討中

◎平成29年度　収支決算報告

（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

＜収入の部＞

・会費（正 3,000円×109名）	327,000
・会費（準 1,000円×199名）	199,000
・会費（卒業生 3,000円×37名）	111,000
・預金利息	14
・前年度繰越金	1,077,321
合　　計	1,714,335

＜支出の部＞

・印刷費（会報）	57,700
・通信費（会報送料等 82円×1195通）	97,990
・広告宣伝費（建設工業新聞）	20,000
・事業費（HP維持費）	5,000
・雑費（振込手数料）	914
・次年度繰越金	1,532,731
合　　計	1,714,335

◎平成30年度　収支予算（案）

（平成30年8月1日～令和元年7月31日）

＜収入の部＞

・会費（正 3,000円×60名）	180,000
・会費（準 1,000円×200名）	200,000
・会費（卒業生 3,000円×40名）	120,000
・前年度繰越金	1,532,731
合　　計	2,032,731

＜支出の部＞

・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費（会報）	60,000
・通信費（会報送料等）	150,000
・事業費（BBQ,ワークショップ）	100,000
・事業費（学校への補助）	200,000
・広告宣伝費	20,000
・慶弔費	50,000
・雑費	2,000
・予備費	1,370,731
合　　計	2,032,731

◎平成30・令和元年度　役員

会　長	家山　真	（14 期）	新任	
副会長	由田　徹	（12 期）	留任	
	田中　宮土里	（21 期）	新任	
常任幹事	下出　由架里	（15 期）	新任	
	山岸　学	（16 期）	留任	HP担当
	村田　一也	（20 期）	留任	郵送担当
	大杉　建太郎	（29 期）	留任	広報担当
事務局	内田　伸	（20 期）	留任	会員住所管理、学校窓口担当
会　計	中宮　紘也	（30 期）	新任	
会計監査	石村　聖一郎	（11 期）	新任	

ほおづえ会からのお知らせ

■住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名に付き、住所１つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail:utd@ishikawa-nct.ac.jp（内田）

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データーの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

■会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。令和元年度会費（3,000円）の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

銀行ATM等から振り込む場合は以下のようにご指定ください。

※振込手数料がかかります。

銀　　行　　名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900
店　　番：079
預　金　種　目：当座
店　　名：〇七九店（ゼロナナキュウ店※）
口　座　番　号：0031159

※web振込の際に求められる支店名の入力の際は　ゼロナナキュウ　とご指定ください。
※ご依頼人の名前を指定する際、氏名だけでなく、卒業期も入れてください。（例）〇キ　ナマエ

会　員　近　況

由田　　徹（12期）

株式会社 ユウプラス 代表取締役

1986年に石川高専を卒業後、豊橋技術科学大学･同大学院で建築学及び景観工学を学び、建築家の北川原温氏を師事し北川原温建築都市研究所(東京)に入社しました。研究所では、現代建築を中心としたデザインと建築の設計監理の実務に取組んできました。生まれ育ったふるさと辰口町(能美市)に活動の拠点を移し、気が付けば21年が経ちました。現在の会社を設立し建築設計だけでなく、プロダクトやグラフィックなどデザインの仕事も行っています。石川高専を卒業して33年が経過しました。特に独立後は、建築つくることの不安と責任の重さに押しつぶされそうになりながらも、何とか続けられているといったとこかもしれません。

故郷に活動の拠点を移すまでは、現代建築にのめり込んでいた私ですが、近年は古民家や歴史的建造物の魅力に引き込まれ、建築の価値を素直な視点で捉えながら、建築や環境づくりを行っています。私たちの未来がより良いものになればとの思いで、地域づくりなど様々な活動も行っています。4年前から、自宅の裏山にある北陸先端科学技術大学院大学で研究活動の場も得ることができ、博士を目指しデザインの研究も行っています。

故郷に帰り家族と共に、幼馴染や子供の頃から私を知る地域の人々に囲まれながら、少しずつ着実に広がっていく人のつながりと、若いころは思ってもいなかった地域のデザインやふるさと石川の地域特有の建築や環境づくりにこうやって関われることをとても幸せに感じています。

那谷寺開祖千三百年記念事業　境内環境整備
― 修景･バリアフリー改修・サインデザイン ―

「37才　独立じゃなく起業のわけ」

村山　太一（29期）

木下商会 代表

2019年3月に前職となるヒトカラメディアを辞めて、4月から新しい名刺を持って働いている。「独立されたんですね！」

自己紹介していると約4割くらいの人に、そう言われる。それにかなり違和感を感じながら、相槌をうつ。僕は自分の責任でやりたいからでもなく、同じ仕事をやろうとも、ましてや評価を独り占めしたいわけでもない。むしろ起業を選んだのは、これまで仕事の枠組みを変えたい！であったり、これまでの会社組織を変えたい！という『想い』があるからである。

まだ一人だけど起業。

建築というのは、重層的に専門的な仕事が集合している仕事で、ぞれぞれのパートで仕事の成果を上げていけばその総和が価値をつくる。専門家による分業、それが発展の礎となってきた。僕はその枠組みもそろそろ変わってもいいのではないかと考えている。

自身の専門の中で価値のある行動を目指すのではなく、個人や集団の目的にあわせて価値の発揮の仕方を変えていく。それがたとえ自分のパートで行う行動が最新でなくても、カメレオンのようにポジションを変更させていくことが大切になってくる。

僕はプロジェクト全体を眺めながら、専門家たちにカメレオンになることを促す仕事をして、オフィスの価値を上げていきたいと思っている。専門家じゃないかもしれないが、それぞれにある程度精通して「働ける」オフィスを一緒につくっていくパートナーを目指す。物理的につくるのにフォーカスするのではなく、観察実験して環境を調整していく新しい仕事の枠組みで勝負していく。そのための起業なのである。

上記のように「仕事の枠組み」を変えていくだけでなく、それを僕たちが実行するための環境づくり、本当の意味で持続可能性が高い環境づくりに力を入れたい。具体的には「弱さをシェアして自分の力を発揮しやすい」環境が良いと考えている。

僕は弱さは個性であり改善対象にはならないと考える。個性を認め合いながら仕事に取り組める環境だと、仕事内容は問わず、仕事は徐々にクリエイティブになっていく。誰かが苦手としているのであれば、苦にならない人がどんどん手伝えば良い。苦手をカバーしあってフローの流量が増えていくことを評価したい。もっともっと仕事のやり方を考えれば、それだけで幸せになる機会が増えていく。

なんだか上からで目線でいい考えでしょ！というのを押し付けてみえてしまうが、そういう考え方が選ばれる環境になればいいと考えている。理想は、仕事の出来不出来に関係なく「家族が増える」！のでといった理由で、給料が上がっても納得しあえる環境が良いと思う。農耕がはじまった時のように、人は集まれば集まるほど可能性が広がる、そんな企業活動がいい。いい人を集めるのではなく、人のよさが発揮できる環境がいい。自分たちの「働く」を楽しみたい。

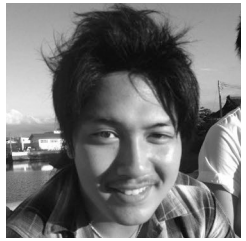
「働く」をワクワクさせて、人生ハッピーにする！

僕のはじめた木下商会のミッションには、そういう想いが込められている。持っているスキルに関係なく、ミッションに共感できる人と働いていきたい。

これは！と思った人、お待ちしております！

東森　友一（40期）

Time 代表



卒業してはや5年になりますが、高専時代からの宣言通り、昨年25歳で独立しました。映像やWebサイト、冊子などの制作を行う傍ら、ブランドコンサルの経験を活かし「癒し」をコンセプトに横浜でMINTというまつエクサロンも経営しています。まだやりたいことの0.001%しか実現していませんが、石川高専での学びがなければここまで成長できていないと思います。当時はかなりの問題児で(今もあまり変わりませんが)、迷惑かけっぱなしですみませんでした。今は先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

僕が石川高専で学んだことの中で、最も影響を受けているのが「物事への意味付けの重要さ」です。噛み砕いて説明するために、みなさんも学んだことがあるであろう「椅子」の話で例えると、「目の前に高さ45cm程の丸い石がある」ことを理解し、そこで思考を止める人がいれば、「分子の密度が高い鉱物でできているから硬く、風化により角が削れている」とその本質まで理解できる人もいます。さらに本質を理解した上で発想を飛躍させ「座るにちょうど良い高さじゃないのか？」と石を倚子だと意味付けまでできる人もいます。こうした人達は、生活や社会を豊かにできます。これは建築だけでなく、どの分野でも同じです。正しく意味付けできる人が暮らしを豊かにし、世界を変えていきます。

この学びのおかげで、僕は社会を見る視点が変わりました。そこで社会には、まだ誰も気付いていない多くの課題があることに気づき、現在、社会を豊かにする新サービスの開発をいくつか始めています。詳細はお伝えできないのですが、将来みなさんのスマホに必ず入っていて、amazonよりも人を幸せにできるサービスになる自信はあります。

9月にまつエクサロンは2店舗目をOPENし、エステとヘッドスパも始め、年末には法人化する予定です。また東京でよく飲みにいく同級生には常々語っていますが、将来は瞬間移動まで実現させたいと思っています。真剣です。ただお金は集まっても人手が全く足りていません。事業にご興味のある方、プログラマーの方、知人をご紹介いただける方など、ぜひご連絡をお願いします！

女性の方は、機会があればまつエクサロン「MINT」にもお越しください！

https://beauty.hotpepper.jp/kr/slnH000449806/?cstt=1

学内ニュース

●新任教員あいさつ

昨年10月から、石川高専建築学科に助教として着任いたしました、秦明日香です。研究は、建築論(意匠・歴史)の分野にて建築家の思想・作品について行っております。現在、福井大学での博士号取得に向け論文執筆中です。

着任以前は、大学研究室にて研究活動を行いながら、広島を拠点に実施設計を行い、木造住宅を中心に、店舗の新築やリノベーションなどの設計・現場を経験し、「建築をつくること」を学んでおりました。また、趣味の旅行にもよく行き、国内外問わず様々な土地の建築や食、自然、歴史、人に触れてきました。

建築学科では、設計製図・構法・材料などの授業を担当しております。確かな人間力と創造性、実践力を持った学生の成長に少しでも貢献できるよう、今までの経験を生かしつつ日々精進していきたいと思いますので、これからよろしくお願いいたします。

秦　明日香(はた　あすか)

●1年間の活動記録

平成30年07月	体験入学および第3回子ども石川高専開催(小学生対象)
平成30年08月	2017年度日本工学教育賞　最優秀賞授賞式
平成30年10月	秦 明日香 先生着任
平成30年10月	3年1泊(滋賀)/4年3泊(ベトナム／ハノイ)合宿研修
平成30年10月	津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
平成30年10月	オダケホーム北陸の家づくりコンペで３作品受賞
平成30年11月	第53回 紀友祭およびオープン・カレッジ
平成30年11月	「第31回 ボウリング大会」(ふじ江レジャラン)
平成30年11月	第45回石川県デザイン展5作品受賞
平成30年12月	デザコン2018in北海道　本選参加　2部門で受賞！
平成30年12月	第9回建築甲子園ベスト8初進出＆「女性委員長特別賞」
平成31年02月	OB/OGキャリアデザイン支援講演会
平成31年02月	大学コンソーシアム石川　地域課題研究ゼミナールで優秀賞を受賞
平成31年04月	モンゴルから留学生(3Aにオユカさん)
令和元年05月	「第32回ボウリング大会」(ふじ江レジャラン)
令和元年06月	第6回うちわコンペ開催(最優秀賞はAC2鍋本さん)

●第45回石川県デザイン展

学生部門の第1部と2部で合計5作品が受賞しました。

【学生部門】　第一部

銅賞　「依間」　一二三亮昌(4年／研究室活動作品)

銅賞　善隣雪景

谷保，和田，石田(4～5年共同／研究室活動作品)

奨励賞　change in image

奥野弥櫻(4年／設計4課題作品)

【学生部門】　第二部

金沢市教育委員会賞　「商店街から住民街へ」

田畑快人，宮下開成(3年2名共同／設計3課題作品)

銅賞　「五菱」

田畑，奥村，堀内，向井，吉田(3年5名共同／造形課題作品)

●報告　デザイン・コンペティション2018in北海道(釧路)

第15回全国高専デザコン2018は、11月10日(土)～11日(日) にかけて釧路市観光国際交流センターで開催されました。石川高専からは4部門で学内予選や一次審査を通過した6作品が本選参加となり、結果、空間デザイン部門で優秀賞を受賞、創造デザイン部門で総合資格賞(企業賞)を受賞しました。

デザコン2019(東京)テーマは新「五輪書」です。

■空間デザイン部門　優秀賞

「他所の市　此処の市」

5A宮西，4A奥野，米林の3名共同　指導：道地先生

■創造デザイン部門　総合資格賞

「下宿から始まり駅に向かう～六の段階で津幡町が変わるまで～」

5A北口，本田，4A坂口，蓮野の4名共同

指導：内田先生

●報告　4年生 海外研修旅行 in ベトナム／ハノイ

平成30年度は、10月1日(月) ～ 10月５日(金)の日程で4度目のベトナム・ハノイ市を訪れました(引率：森原先生，内田先生)。現地ではハノイ国立博物館・ハノイ民俗学博物館などを見学し、ハノイ市内で宿泊しました。また、ベトナムで活躍するOB丹羽さんが設計した商業建築で、留学中のOBも合流し、学生の頃の考えていたことや過ごし方のアドバイス、そしてベトナムでの外国人建築家の役割についてお話頂きました。さらに、本校と提携を結んでいるハノイ建設大学を訪問し、学生による英語での建築作品のプレゼンテーションを行いました。現地学生と交流しながらの班別市内観光も楽しみ、最終日には世界遺産ハロン湾クルーズを体験しました。

●報告　3年生 国内研修旅行 in 愛知＆岐阜

建築学科3年生40名(引率：本間先生，恩村先生)で岐阜県を中心に10月2日から1泊2日の研修旅行に行きました。1日目は、心のテーマパーク養老天命反転地(荒川修作)、みんなの森ぎふメディアコスモス(伊東豊雄)を見学。2日目は、明治村、多治見市モザイクタイルミュージアム(藤森照信)を見学して研修旅行を終えた。

●報告　第9回建築甲子園2018ベスト8「女性委員長特別賞」受賞

日本建築士会連合会主催の高校生による「建築」甲子園第9回全国大会テーマ「地域のくらし～リノベーションの可能性」においてベスト8。作品「この地で生きてゆく」選手：田畑奎人(3A)監督内田先生